

令和6年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立山川高等学校

1 目的

本校園芸工学・農業経済科では、地域の特性を生かしたIPMによるマメ類の栽培やパッションフルーツを活用した新商品開発などの学習や実験実習を通して、農業に関する専門性を高めてきた。その学習をより深化させるために、本助成事業を活用し、校内での販売実習に加え、鹿児島市内や指宿市の産業祭などで販売実習を行うことで、日ごろの学習成果の発表と学校・学科のPRを行う。また、農業現場実習や先進的な農業経営を展開している事業所等での現地研修を通して、地域農業の魅力発見や就農意欲の向上、学習の振り返りと定着を図り、農業に対する興味・関心を高め、学ぶ意欲の向上を図る。

2 実施状況

(1) 農業現場実習の実施

本校園芸工学・農業経済科2年生に対し、いぶすき農業協同組合の関係事業所、地域振興局の指定した先進農家で、4日間の現場実習を行った。日ごろ学校で学んでいる各専門教科の学習成果をもとに、地域農業現場での実習体験で地域農業の実態を知り、農業への理解が深まった。また、農業のやりがいや魅力に触れ、就農意欲が向上した。



農業現場実習

(2) 体験学習・視察研修の実施

ア 株式会社アグリスタイル

株式会社を設立した経緯や夢、現在の経営概況の説明を聞き、施設設備等の視察研修を行った。また、収穫したスナップエンドウを使ったピザ作り体験も行った。アグリスタイルでは、農業体験を中心とした修学旅行生の受け入れも行っており、農業を中心とした地域おこしを肌で感じたことで、農業の奥深さと魅力を再認識し、学習意欲が向上した。



アグリスタイル視察研修

イ 鹿児島大学農学部附属農場

指宿特有の地熱を活用した熱帯果樹園の視察に行き、農場の概要について説明していただいた。身近な施設ではあるが、初めて見学した生徒が多く、指宿にある地域資源の雄大さに驚いていた。地域資源を有効活用することで、特徴と魅力ある農業経営ができることを知り、就農意欲と地域理解が深まった。



鹿児島大学附属農場視察研修

(3) 営農の門出を励ます会の実施

令和6年度卒業生のうち、1名が指宿市内の農家に就職した。今後の地域農業への貢献等を視野に生徒を励ます会を実施するとともに、今後の抱負や目標を発表した。各関係機関から多数ご参列をいただき、生徒自身も地域貢献を目指す決意を新たにしました。

3 今後の課題、取組

本助成の継続的なご支援により、現場実習や視察研修を行うことで、農業の魅力を知り、就農意欲や学習意欲の向上につなげることができた。今後は、これまで以上にスマート農業や6次化など先進的な農業経営を意識した学習内容を検討し、生徒の農業に対する興味・関心の向上につなげたい。



営農の門出を励ます会